

所在地:	東京都八王子市石川町2967-3		
敷地面積:	21950㎡	延床面積:	30105㎡
設立:	1963年7月	従業員数:	962名
ISO14001取得:	1998年7月	ISO14001最新更新:	2010年7月
主要製品:	カーオーディオコンポーネント、カーナビゲーションシステム、ホームオーディオコンポーネント等		
環境コミュニケーション:	10年度		
情報開示:	2件	工場見学:	0名
		地域貢献活動:	4件
問合せ:	コーポレート管理部 環境・社会貢献室	TEL:	045-450-2512



## ごあいさつ

当サイトは、多くの大学群を擁する学園都市として発展を続けている東京都八王子市にあり、最寄りの北八王子駅からの緑豊かな道並みでは、小鳥のさえずりが聞こえる静かな環境下にあります。

事業所としては、1998年7月にISO14001を認証取得し、カーエレクトロニクス及びホームエレクトロニクス商品の開発を通じ、化学物質規制への対応や、省資源、省エネルギーと事業活動における環境負荷低減を継続的に取り組んでおります。特にカーエレクトロニクス商品では、車載機器ならではの厳しい環境規制の中で、信頼性と環境面を両立させた開発設計を進めております。今後も地域社会への貢献も含め、積極的な環境保全活動を推進してまいります。



八王子保全会議議長  
藤井 真澄

## 2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
省エネルギーの推進 CO2排出量を1,767.25t-CO2※以下とする。	CO2排出量1,831.3t-CO2※(目標に対し96.5%)
社会貢献活動 ペットボトルキャップ回収によるワクチンの寄付	回収実績93,576個(ポリオワクチン換算234人分)
社会貢献活動 事業所近隣の清掃活動	年4回実施(目標年4回以上実施)
	※ 使用エネルギーのほとんどは電力で、換算値は社内基準係数を使用しています。

## 製品・環境配慮ポイントの紹介

カーエレクトロニクスでは、目標を定め軽量化と消費電力の削減に取り組んでおります。



写真は、デジタルメディアレシーバー TK900

オーディオ商品では全新モデルで軽量化の取り組みを進めています。



車載用アンプのKAC-X1D.X4Dでは、小型化、軽量化に取り組み、前モデル比49%の小型化を達成しました。



カーナビゲーションのMDV-727DTには、エコドライブを支援する「ECOメニュー」を搭載しました。

「ECOメニュー」はふんわりアクセル、加減速の少ない運転などを支援します。



ホームオーディオでは、高音質なデジタルアンプの開発を進めております。



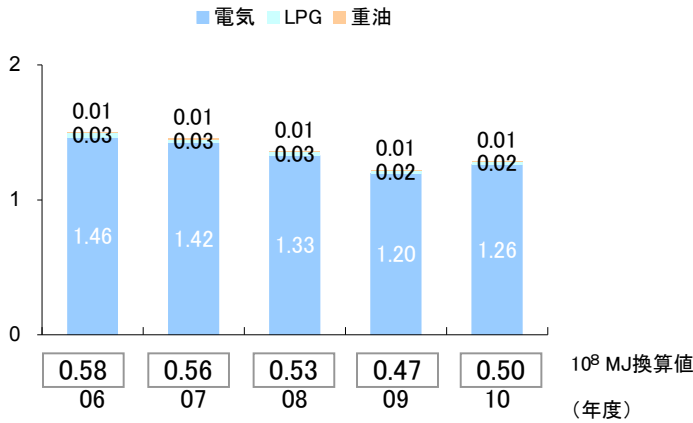
KseriesのK-521では、アナログアンプと比較して動作時消費電力を67%削減できました。

写真はK-521-SB(シルバー&ブラックモデル:ec direct限定商品)

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2010:2010年4月1日～2011年3月31日

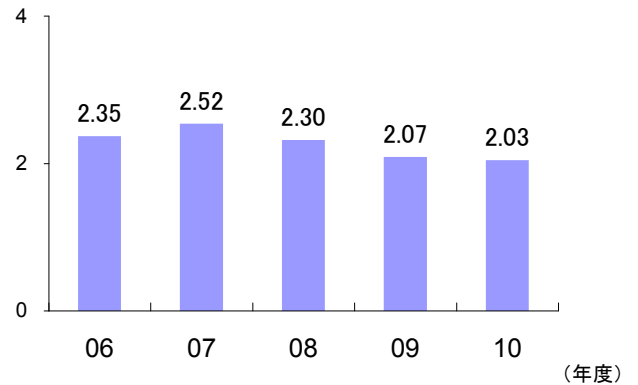
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t

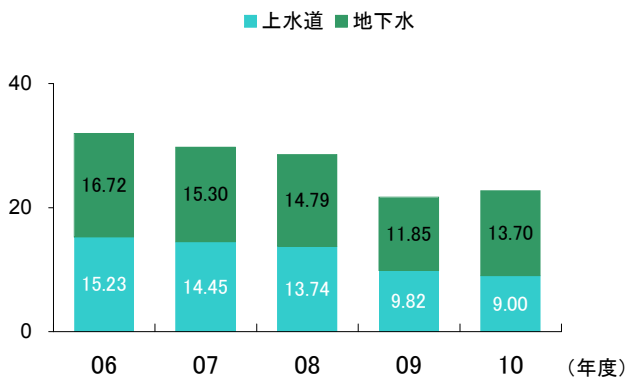


算出基準について

電力のCO2換算値は電気事業連合会の資料に準拠しています。2010年度のCO2換算は0.412kg/kwh(2009年実績値:2010年9月公表値)を使用しました。

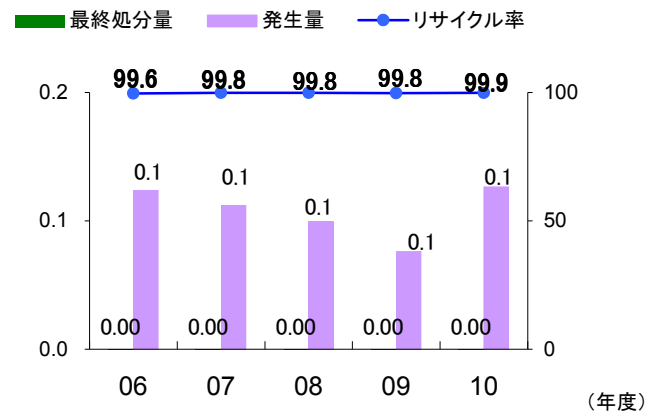
水の使用量

単位:千m<sup>3</sup>



産業廃棄物・有価発生物

単位:千t、%



循環的使用量

雨水使用量

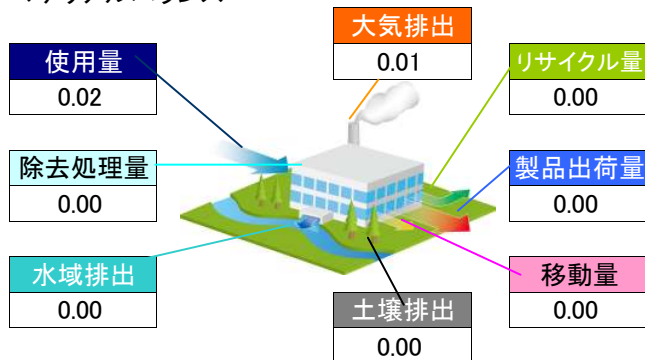
0.00 m<sup>3</sup> 0.00 m<sup>3</sup>

化学物質

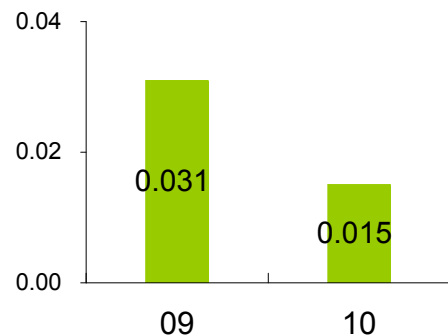
単位:t

マテリアルバランス

10年度



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

重点削減物質=PRTR法、VOC(大気汚染防止法)、GHG(地球温暖化対策法)の中で、環境影響の大きいとされる物質を削減対象として指定しています。(電気・電子業界での使用実績の大きいものなど 約60物質群を指定しています。)

## 環境法令等の順法状況

10年度

## &lt;大気汚染物質計測状況&gt;

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm3/h	環境棟ボイラ	—	—	0.02		1回/年
		C棟4号ボイラ	5.52	5.24	0.01		1回/年
NOx	ppm	環境棟ボイラ	—	—	92.00		1回/年
		C棟4号ボイラ	—	—	78.00		1回/年
ばいじん	g/Nm3	環境棟ボイラ	0.30	0.29	0.00		1回/年
		C棟4号ボイラ	0.30	0.29	0.00		1回/年

## &lt;水質汚濁物質計測状況&gt;

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A					
BOD	mg/l	B棟前マンホール	600未満	570以下	350.00		1回/年
窒素	mg/l	B棟前マンホール	120未満	114以下	22.00		1回/年
リン	mg/l	B棟前マンホール	16未満	15以下	3.90		1回/年

## &lt;騒音・振動&gt;

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼	N/A				
		夜	N/A				
振動	dB	昼	N/A				
		夜	N/A				

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

## 法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

## 指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません	

## 環境方針

## 【 環境方針 】

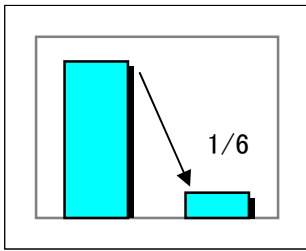
ケンウッドグループは、カーエレクトロニクス・コミュニケーションズ・ホームエレクトロニクスの事業活動、製品開発およびサービスにおいて、環境に与える影響を十分に認識し継続的に改善することにより、地球環境と資源の保全、汚染予防を図り、環境に配慮した企業経営に取り組みます。

1. 地球温暖化防止のために、環境負荷を低減する技術や商品の開発に取り組み、事業活動を含めたライフサイクル視点でのCO2排出量の削減を進めます。
2. 限りある地球資源の有効活用のため、3R活動を中心とした環境配慮設計を進め、循環型社会の実現を目指します。
3. 地球の環境と生物に影響を与える製品含有の化学物質を管理し、継続的な削減と安全物質への代替に努めます。
4. すべての事業活動、製品開発およびサービスが生物多様性に影響するという認識に立ち、総合的な環境負荷の低減に努め、自然環境との調和を目指します。
5. 環境側面に適用する法規制およびその他の同意した要求事項を順守します。
6. 環境保全の啓発として従業員に対して環境教育を行います。

この環境方針は、全社員に周知し、一般の方へも公開します。

2011年5月25日

環境負荷削減の取り組み事例



**事務用紙使用量の削減**  
社員一人当たりの使用枚数は、活動当初の1997年度に比べ約 1/6 まで削減することが出来ました。

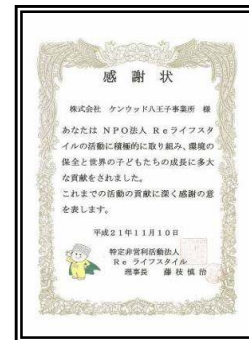


**廃棄物のゼロエミ継続**  
2006年にゼロエミを宣言してから、以降継続しております。2010年度は99.9%と高いリサイクル率を維持しております。

**遮光フィルム**  
事業所の窓に遮光フィルムを貼り付け、特に夏場の温度上昇を抑えました。2004年に施工し、夏場の6月～9月の4ヶ月間で約26.8t-CO2の削減効果を算定しました。

**セタライトダウンへの参加**  
北海道の洞爺湖サミットに合わせて、2008年から「セタライトダン」が開始され、当事業所も参加しました。合わせて従業員の家族にも参加を呼びかけ家庭でのライトダウンを実施いたしました。

環境コミュニケーション事例



**石川公園の清掃活動**  
事業所の前にある石川公園を清掃しています。時折、声をかけてくださる方や「がんばって下さい！」と応援してくれる小学生もいて、地域の暖かさを感じます。

**ペットボトルキャップの回収**  
ペットボトルキャップの対価でワクチンを寄付する活動に賛同し、協力しており、NPO法人Reライフスタイル様より感謝状を頂きました。

緊急事態への準備と対応

**考え方と訓練計画**

当事業所では自然災害や事故等により、敷地外への環境影響を及ぼす可能性を評価し、必要な手順書を作成しています。特に敷地外への拡大は最小限に止めるための体制の構築を行っています。また、教育訓練計画の中で定期的訓練の実施し、手順の見直しを行っています。

**緊急事態訓練**

冬季の暖房用として重油タンクを設置していることから、給油時などのオイル漏れを想定しました。処置のための備品(土嚢や吸着シートなど)を含めて定期的に訓練を行います。